

株式会社中口板金工作所

素材カットのコストダウン追求と新素材への挑戦！



会社紹介

「確かな技術力」から生まれる「職人力」 人材を育てることでお客様と社会に貢献



代表取締役

中口維秀

中口板金の強みは「確かな技術力」。もちろんそれは一人ひとりの「職人力」から生み出される力です。そのための資格取得制度も充実。入社3年目で2級技能士を取得することを目標に、現在1級技能士も11名在籍して当社の技術力を支えています。設備においてもファイバーレーザー加工機をはじめ、最先端の設備を導入。ただこれらを扱うのもやはり人。職人力を育てることで、お客様と社会に貢献できればと考えています。

株式会社中口板金工作所

代表者：代表取締役 中口維秀
 設立：昭和61年（昭和28年創業）
 資本金：1000万円
 従業員：34名
 業種：工場板金・建築板金

所在地：和歌山市雑賀崎泊り新開2017-14
 TEL：073-445-1166
 FAX：073-447-0629
 E-MAIL：info@nakaguchi-bankin.co.jp
 URL：https://nakaguchi-bankin.co.jp

補助事業

建築板金と工場板金を事業の柱に特殊技能を未来に伝承 新型ファイバーレーザー機で高品質&コスト削減を目指す

創業から70年余り、板金工作の職人を束ねる会社として歩を進める「中口板金工作所」。建築板金工事をはじめ、要望やニーズに応える一点物の工場板金加工も取り扱い、お客様に育てられ成長しながら、板金という特殊技能を未来に伝承していくため、優秀な職人の人材育成にも力を入れている。

「技術力」とは「職人の力」そのものという考えのもと、誰もがしない仕事・誰もができない仕事をするをモットーに、さまざまな加工に対応している。建築板金工事では、主として工場や倉庫等の屋根・壁の鉄板取り付けを行う大型工事から、屋根折板葺き工事、壁角波貼り工事、樋工事などを施工。工場板金加工については、基本的に金属を「切断」、「曲げ」、「溶接」をすることにより加工。染色整理仕上機械の製作および据え付けから、各種水洗機のタンクおよび槽（鉄・ステンレス）の製作、個

人相談による板金加工まで、工作は多岐にわたる。

今回の事業では、加工素材にレーザーを照射することによって金属を加工する「ファイバーレーザー加工機」を導入。従来の炭酸ガスレーザー加工機と比べ、集光率が高く、ほぼ半分の直径0.1mmまでレーザー光を絞ることができ、これにより同じパワーであっても高速加工や歪の少ない加工ができるようになった。また波長が小さく、高反射材であるアルミや銅のビーム吸収率も高くなるため、さまざまな金属の加工が可能となった。これらの特徴を生かして、コストダウンと非鉄金属部品製作に挑むとともに、付属する専用プログラミング装置を使って、複雑かつ高精度部品を製作し、お客様のニーズに応えることを目的とした事業展開を模索。新素材へ挑戦することで、新規顧客の獲得を目指しつつ、新たな事業者への営業拡大を図る。

成果

切断面の品質とコストをコントロール 特性を生かした新素材の加工で新規開拓も

成果としては、高圧エアを使った鉄板切断範囲の拡大効果。窒素カット、エアカット、酸素カットと切断する加工方法が選べることで、切断面の品質とコストをコントロール。切断面が非常に綺麗ながら高コストの窒素カットと、低コストながら切断面にばりや焦げ等が発生しにくいエアカットを使い分けながら、コストダウンを実現。また同レーザーに付属される専用プログラミング装置を使用することで、同じシートから1.5倍の製品がカットできる「サン幅共通切断」が可能となり、約10%の材料費を削減している。さらに全ての情報と展開データをプログラミング装置に集め、一括割付けすることで、大幅な時間短縮が得られた。もちろんファイバーレーザーの波長特性を生かし、従来機で切断できなかった材料や微細加工で、サンプルを製作。営業手段として、新規営業先等にサンプル配布を行っている。



今後の展開

日々変化する社会の動向に留意しながら 高みを目指すステップアップへの準備

鉄材だけでなく、ステンレス鋼や銅、アルミ等の金属製品が自社で加工できることで、製作においては一層の売上強化に繋がる。また、微細加工やデザインを生かした加工もできるため、こちらも合わせて販売を強化。ただコロナ禍で対面営業が難しく、面会を断られるところもあり新規開拓については、困難な状況が続いている。さらにウクライナ情勢や急激な円安進行などで、社会の動向が日々変化。材料費の高騰や資材不足など、変動に留意しながら販売強化のタイミングを図る。

